

2026年9月2日

当院において造影CT検査を受けられた患者さんへ

「CT 検査における造影剤注入条件の最適化のための 既存検査情報を用いた統計調査」への協力をお願い

放射線科では、下記のような診療を受けた患者さんの画像計測情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2025 年 1 月 17 日～2026 年 7 月 17 日の間に、当院において、

「胸部＋腹部＋骨盤部 単純＋造影 CT 検査」を受けられた 18 歳以上の方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2027 年 9 月 30 日

研究目的・利用方法：当院の造影CT検査では、患者さんの体格に合わせた造影剤投与量の設定を行っております。この設定は国内のガイドラインに定められた量となっておりますが、当院のCT装置や、診断を行う医師にとって最適な投与量となっているかについては、十分に検証されていません。そこで、本研究では、上記の期間に対象となる部位の造影CT検査を受けられた患者さんのCT画像から大動脈のCT値を計測し、その値が患者さんの体格（身長、体重など）や造影剤投与量との関係を解析学的に解析します。

研究に用いる情報の項目：①一般身体所見：身長、体重、性別、年齢 ②撮影装置名 ③造影剤注入条件：注入速度、注入時間、注入量、造影剤の種類 ④大動脈のCT値 これらは全て日常診療の範囲で実施された検査項目です。

研究に用いる情報の利用を開始する予定日：2026 年 9 月 4 日

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。本研究は個人を特定できないデータを使用しており、研究の参加に拒否を表明される場合でもデータの削除はできません。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

本研究は、根本杏林堂株式会社からの資金提供を受けて実施するが、根本杏林堂株式会社は、研究の計画、実施、解析、報告に関与しない。本研究の実施において生じる利益相反については、事

前に利益相反専門委員会に申告し、適切な実施体制であることの審査・承認を受けて実施する。

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 放射線科

氏名：松尾 政之

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 放射線科

電話番号：058-230-6437

氏名：野田 佳史

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係

〒501-1194

岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1

Tel：058-230-6059（平日 8:30～17:15 まで）

E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp